京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六二)

發行所 京城新報社

雜報

輝久王の御身分

故北白川宮能久親王第四の王子輝久王殿下には臣籍に列せられたき御希望を以て此程勅許を仰ぎ奉りたるやの趣にて先日の樞密院會議に皇族御身分に關する御諮詢のありしは殿下の御身分に關してなりと拜聞せり今確かなる筋に就きて拜承する所に據れば故小松宮彰仁親王には豫て御在世中華族社會の紀綱動もすれば振はざらんとする傾きあり且甚だしきは華族の本分を忘れて危激なる政論に馳せんとするものあるを痛く御慨歎遊されば御弟宮なる故能久親王にも謀らせ給ひ御共々臣籍に降らせ給ひ華族として專ら君國の爲めに御盡瘁あらせらるべく御決心遊ばされたる御事あり然るに御繼嗣たる依仁親王殿下は幾きに東伏見宮御再興遊ばされし爲め御繼嗣を失はせ給ひ其結果小松宮は大妃頼子殿下御一代にて御廢家とならせ給ふ次第なるが大妃殿下には故宮殿下の御素望を御追懐遊ばされ御自らも臣籍に降らせ給ひ輝久王殿下を御養子に迎へ奉りて新に小松家を興させ給はん御希望なるやにて輝久王には小松姓を賜はるべく御治定なりしは至く宮家との御因縁によるものなりとぞ又故彰仁親王には御宮數多有たせ給ふ中にも別けて輝久王殿下を御鍾愛在らせられ愈々臣籍に降るの勅許を得させ給ひたる曉には殿下を迎へて御養子となさせ給はん御希望ありしことは大妃殿下にも御承知の御事にして同妃殿下輝久王殿下の故宮の御遺を留めさせ給ふを懐はせて故宮の御上を偲ばせ給ひ痛く王殿下を御親愛遊ばさせられ王殿下の御奉養を受けさせらるゝ日の一日も早からんことを望ませらるゝやにも洩れ承はる

米國の軍事豫算

千九百十年度に於て米國並に所領島嶼防備に要する全費額は總計五百十六萬七千二百弗にして前年度より二百五十萬弗の減額なり而して同國豫算委員會は陸軍費を百十萬九千五百二十四弗五十六仙に低減したるが該豫算中の最大項目は比律賓海岸砲臺費八十万弗にして同嶋及布哇の防備費總額は二百六十八萬九千三百弗米國本土の防備費は總計百九十七万弗六十萬弗なりと

大豆輸出禁止

東三省總督は昨年不作に基く人民の困難を救ふてふ名目の下に吉林、黒龍江兩省に防穀令を布き一般小麥、高粱、粟等の粒穀に對して其輸出を嚴禁したるが今度吉林省新城府に於ては突然大豆の輸出を禁止し其管轄區たる伯都納及び東清鐵道寛城子線驛たる石頭城子、挑賴照(第二ズンガリー)各驛に向て輸送されつゝある新城府城產出大豆にして外國商人の買約せるものと否とに拘らず大豆輸送の馬車を片つ端より官兵を其要路に潛匿し差押へ租借地帶の停車場に入るを禁止せしめたり此報に接したる東清鐵道會社及び輸出商連は大に激昂狼狽し直ちに各國領事又は公使の手を經で其筋に抗議を申込めり而して當地外交團は當地吉林交渉局總辦施道臺に向て交渉の結果既に停車場附近にあるものは二十七日より二十九日迄三日間奥地にあるものは六日間の積出猶豫を與へたれば其期間に於て買約濟のものは速かに積出すべしとの事なり然れども到底此の小時日に於て約束物の積出を了し得るものに非ざれば再び其筋に向て交渉中なるが速かに要領を得ざるべく結局輸出商連の損害に歸するならん、斯く新城府が單獨に大豆の輸出さへ禁止したるは表面同府管轄區域が松花江上流に沿ひ昨年被害の多かりし爲めと稱すれども裏面に於ては昨年長春顔道臺の官權を濫用して其部下たる農安縣知縣に命じ一部の買付を爲さしめたる失敗等もあれば今度サミュル商會との賣買上契約物の供給に窮し手近き新城府を利用したるに非ざるなきか

大豆先約の失敗

最近北滿諸地方に於て收穫不好の爲め雜穀の輸出禁止を觀るに至り殊に伯都納に於ては去月廿四日より雜穀は勿論大豆の輸出を禁止したるより遂に諸列國領事の抗議となり紛擾を釀成するに至り延ては南滿諸地にも其影響無しとせず即ち昨秋大豆實收額は豫期より非常に減收の結果六七月頃の出來柄を豫想して先約せる外商等は輸出期に至り買附容易に捗取らず却て農民に弱點を押へられたるより產地市價は漸次昂騰して昨今は昨年の高價より更に四五十錢高と爲り即ち八日入電は一擔三圓七十五錢乃至八十錢を報ずるに至れり而も歐洲に於る需要は益々强含みなるを以て輸送を急ぎ居るも農民賣惜みと市價漸騰の形勢を改めざれば輸送愈々困難に落り遂に先約外商の如きは昨今一擔に付六七十錢宛の損失を爲し居れり

●市原韓銀總裁談片

韓國中央銀行總裁市原盛宏氏は九日朝木村理事、吉原秘書役と同行し關釜連絡船にて下關に着し春帆樓に投宿したるが往訪の客に語つて曰く韓國の金融狀態は格別異狀なく緩漫の傾向なりしが舊正月に際し多少の需用を感じたれど繁忙と云ふ程にはあらず▲本行は中央銀行の實質として稍見るべきものは京城のみに止まり各道十三箇所の支店は別に金融機關の設備なければ商人直接引取をなし居れり▲昨年は米、大豆棉杯の收獲好況なりしを以て仁川、群山、木浦の南韓地方は金融相應に活動し居るもの如し▲利子は最高三錢最低二錢三厘預金は殆んど皆無なるが利子は日歩六厘なり▲今回余等の東上は來る十七日東京に於て開設の株主總會へ臨席のためなるが開業以來四十日間の業務報告にして定款に依り二、八月に開くべきに付異の形式に止り利益配當は無論なし▲政海の現狀は方面違ひにて知悉せざれど統監及び要路の人々は在京中なれば專ら政治問題は東京に集中し居らざるが兎に角平穩なり李▲完用氏は最早全癒したり醫師のお蔭げと云ふべし云々(下關通信)

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌▼ あまり奇拔な問題もないが社論は中々以て金融界を通達したるは實に良し。(東京々橋彌左衛門町經濟雜誌社)

▲新公論▼(二月號) 何日見ても飽きざるは新公論なり同號には特に大隈伯が帝國學問を論じたると高橋博士の世界的常識は最も痛快なり。(東京本郷東片町新公論社)

▲東洋時報▼(百三十六號) 勝田理財局長の滿州の經濟的觀察は些々の漏れたる處なくあらゆる方面を說盡しあり時節柄讀逃す能はざるなり。(東京麹町内山下町一丁目東洋協會)

▲滿韓之實業▼ (釜山琴平町滿韓實業協會)

▲明治の家庭▼ 教育から料理等家庭に關する事を網羅しあり特に郵便遞出しに付ての注意は必ず一讀すべし。(東京牛込納戸町明治の家庭社)

日本銘刀傳

第四十三席 邑井一講演

錄「ヤイ觀分がこれほど詫びるのに飛んでもねえことをしやがる」言はせも果てず、躍り出でた右の兼五郎、力八人力あると云ふ、黒駒は蹴倒され、小天狗は擲付られ、れ多福の長助は踏躙られる、仕方がないから其儘逃出さんとする途端、折柄高津の宮へ參詣を濟まし、裏門の此方に來つた上田源之助 源「是れは乾兒の乘飛んでもない……無禮者奴、予を何んとか思ふ、江戸奴の庄吉の家に當時食客同様になつて居る、上田源之助觀念しろ」と引拔いた壬生の兼五郎も「生意氣なことを吐しやがる」と同じく拔いて切込む一刀、體を開いた上田源之助、流石は有名の柳光流、エイと許りに斬付けて來る、發矢を受けた兼五郎、肩先に斬付けたと思ひの外柳光流の奥の極意、體を開いて横に拂へば、哀れや壬生の兼五郎股を斬られて其の處に打倒れた樣子、血烟立つと諸共に、江戸奴の乾兒「出來た〳〵、上田さん偉いな〳〵」と譽められた 源「サア引揚げやう、蟷螂が斧何んぞ予等の敵とならん」悠然として江戸奴の乾兒を伴ふて、上田源之助は日本橋に歸り、今日の始末を江戸奴の庄吉に話すと 庄「そりや飛んだことをしなすつた、惡いことをやつた、壬生の兼五郎は鳴戸の長兵衛に助けられて長町裏に歸つて、是れから自分の身内の大勢集つた、宇治の金八、賴政友七、惠比羅の紋平、生田の法助、數盛小僧の金太なんと云、無法な奴等、殘らず巾着切ではムいますが、夫ちやア斯してやらうと相談が纏まりましたのが三月廿日でムいます、明十一日、住吉の松原で果し合ひをするから、乾兒を連れて出向ふ宜い、待つて居るからと云ふことを言つてやがる、庄吉は之れを聞いて 庄「夫れおやア鳴門の長兵衛が、高津で乾兒、喧嘩から俺に喧嘩を賣るんだな、喧嘩を賣るなら買つてやる、乾兒のことは俺一人で引受けた、大勢行くにやア及ばねえ、何れほどのことがあるものか、やつ附けて呉れなければアならねえ、サア出懸やう」と、大膽不敵の庄吉か、翌二十一日に計らずも致して、乘出して參りましたのは、住吉浦へ澁籠で以て行くつもりでございます、此方は乾兒の者が、親分庄吉が乘出すといふから、これを大變に諫めまして○「れ前はんが一人で行つたつても詰らねえから、まあ皆な乾兒の者に任して呉んなはい、惡いやうにやしませんから任して呉んなはい」と幾ら言つても肯きません、據ころないから、其の儘に捨て置きました時に弘化の二年三月の二十一日、咲く花さへも嵐ゆゑに散るといふ彌生の月のことにいたして、住吉神社の大鼓橋を向ふに見て、乘込んで來る住吉の松原、待構へて居た鳴門の長兵衛 長「待つた〳〵、此の駕籠は滅多に動かせねえ、江戸奴の庄吉出て貰ふ」先きに立つた賴政の友七、生田の法助、駕籠の兩脇から 友「出ろ」 法「出ろ」駕籠の戸開くれば江戸奴の庄吉と思ひの外腕に覺ゑの柳光流の達人、上田源之助 友法「ヤア、汝は僞物だな 源「僞ちやあねえ、貴樣達の望みに依つて、據なく是れへ參つた、サア三面六臂の鬼神も恐れはせんから覺悟をしろ、柳光流の劍の切れ味、會津の而も磐梯山で、據なく同僚を斬つて立退き、都路へ逃れ來たつて今は又、身の善惡も難波なる、高津の宮の喧嘩から引出されたる住吉の、此の松原が汝等が最期、腰に差したる新刀小鍛は、上野の山で鍛わたる誠に是れは奇体の切味、汝等は喰つて往生しろ」引拔いたりける小鍛の一刀眞向上段に振翳す 大勢「なに汝等達に斬られて堪まるものかい、サア蒐かれ」と、忽ちの中に左右より、拔連れ立つて斬りかくる 源「心得たり」と源之助は最初に斬込む宇治の金八が刀を撥つて横撲り、鬢を三寸許り斬付けた、跡より惠比羅の紋平が同じく斬つて蒐かるを、エイと許りに斬込んで片腕失れに落したり。



京城聯合繁榮會決算報告

收入之部

一金一萬四千三百八十圓 景品券五十七萬五千二百枚代入

一金一千二百五十圓 景品券十萬枚代(日本官煙東亞株式會社より入)

一金三百五十圓四十錢 旗提灯代各加盟店より入

一金六十九圓九十八錢 預金利子及雜收入

一金二百三十圓八十二錢五厘 六等以下景品未引換商品切手及郵便切手賣戻金入

一金(債券)三千五百圓 第一等及第三等景品未引換入

合計 現金一萬六千二百八十二圓二十錢五厘 債券三千五百圓

支出之部

一金三百〇二圓八十錢 景品券及商品切手印刷費

一金五百三十六圓六十五錢 提灯壹千個旗竿四百本買入費

一金五百九十圓 旗五百本買入費

一金壹百四十八圓二十五錢 景品券商品切手調査費

一金壹千四百八十圓九十八錢 各新聞廣告及其他廣告費

一金五十八圓四十三錢 諸帳簿及筆紙墨買入費

一金壹百三十二圓三十三錢 事務所用木炭及石炭代

一金四百〇五圓 事務員の手當金

一金三百二十圓七十二錢 抽籤當日の費用其他辨當代

一金四千〇〇二圓五十錢 景品第一等より第五等迄の債券四千八百圓買入代

一金四千〇四十六圓 景品六等六十七本及第七等三千三百七十六本の商品切手代

一金三千三百五十八圓七十六錢 景品券等外六十七萬千七百五十二本に對する郵便切手類買入

一金五十三圓四十八錢 人夫及諸雜費

一金二百圓 抽籤器買入費

一金三百五十圓 總會費用

合計 一萬五千九百八十五圓九十錢

差引 現金三百九十六圓三十錢五厘 債券三千五百圓 殘額

右殘額處分方法

一債券三千圓 京城民團立尋常高等小學校敷地代の内に寄附

一同 五百圓 京城日本人商業會議所修繕費内に寄附

一金百五十圓 大神宮へ寄附

一金一百圓 京城婦人會恤兵部へ寄附

一金一百四十六圓三十錢五厘 本願寺行旅病者收容所へ寄附

計 現金三百九十六圓三十錢五厘 債券三千五百圓

差引無出入

右の通り相違無之候也

明治四十三年二月

京城聯合繁榮會

精算委員(イロハ順) 池田長兵衛 山下新太郎 前田熊市 松浦源治 進辰馬

東京電報

▲新公債と前景氣 内債借換に對し一般の人氣は新規公債の募集開始と共に一層其の度を昂め日本銀行に對し登錄公債を以て代用公債と爲す旨豫告し新債應募を申込むものあり其の他各地取扱銀行に對し五分利付公債を以て新債に換へんとし其の手續を爲し應募し來る者頗々たる有樣にて此の狀況により推移せんか現物應募者は新募集株の大部分を占むる事は期待するに難からず而して一般應募額は幾何を算するに至るべきか未だ確定せざるも募集額の二倍に達すべきは一般の想像する所なり(十三日)

▲總豫算と貴族院 衆議院を通過したる四十三年度總豫算並に地價修正案は直に貴族院に回送せられたるが右に關し貴族院の大勢を見るに豫算案に就ては多少の議論あるにもせよ結局衆議院回附の如く決定すべく兩院協議會を開くが如き事は無かるべし(十四日)

▲地價修正案の運命 宅地價格修正案の運命に關する上院の形勢を見るに由來有爵又は勅選議員中には市外に宏大なる宅地を有するを以て該修正案の如何は多大の負擔を免かるゝを得ず然ればとて當然之に反對の聲を揚ぐるは私利の爲め公事を忘るゝの誹を受くるを以て反對議員は華族議員をして有耶無耶の内に修正案を葬り去らんとするものゝ如し此計畫にして成功せば協議會に付せらるゝ事なかるべく一方衆議院にては決して之れに同意せざるべければ該案は遂に不成功に終るべしと疑ふ者あり(同上)

▲日英同盟紀念祝宴 十二日は恰も日英同盟八週年に相當するを以て小村外相は英國大使及同館員各大臣を招待し午後七時三十分より同官邸に於て晩餐を開き席上小村外相は英國皇帝陛下の萬歲を三唱し英國大使マクドナルド氏は日本皇帝陛下の萬歲を三唱し續て小村外相は日英同盟に關する祝辭を述べ主客共に乾盃し英國大使マクドナルド氏は答辭を述べ盛會なりき(同上)

▲木曜會遂に分裂 貴族院木曜會の一部は幹部の處置不當なりとて遂に分裂し二十餘名にて別に政交俱樂部なるものを組織せり(同)

▲條約改正案成る 外務當局の手に於て調査編成中なりし條約改正案は全部完成を告げたり(同)

▲多額議員の不平 貴族院における多額納稅議員は政府と衆議院との間に妥協成れる八厘減租に對しては承認を與ふべき形勢なるも所得稅案を政府の撤回せるに就きては不平を抱き居れり(同上)

▲錦愛鐵道と日本 米國政府と淸國政府との間に懸案中なる錦愛鐵道に關し吾が日本は錦齊と錦愛線中の一地點とを連絡せしむる敷設線を要求し又露國は蒙古鐵道敷設權を要求したり(同上)

▲通信電話減額案 本日大橋頼母外五氏は新聞通信電話料金に關する建議案を衆議院に提出したるが其の槪要左の如し

新聞通信社電話料は電話區域並に加入區域外通話料は總べて普通通話料の半額に改正せられん事を望む(同)

▲名譽領事館設置 西濠州ブルとに我が帝國名譽領事館を設置せし旨發表されたり(同上)

大連電報

▲安重根等の判決 本十四日午前十時旅順地方法院に於て伊藤公暗殺者安重根以下連累者の判決言渡ありたり即ち安重根は

殺人罪に依り死刑 禹連俊は殺人罪幇助に依り懲役三年曹道先柳東夏は殺人幇助に依り各懲役一年六ヶ月の判決を受けたり(十四日)

雜報

兩共進會出品計畫概要

(菊地商工局長演說)

十三日記者招待會に於ける菊地商工局長の演說左の如し

來る三月中旬日本に於て二大共進會の開催せらるゝあり一は福岡市に於ける第十三回九州沖繩八縣聯合共進會是なり他は名古屋市に於ける第十回關西府縣聯合共進會なるが前者は三月十一日より五月九日迄で六十日間後者は三月十六日より六月十三日迄で九十日間開催せらる福岡市の共進會は敷地三万坪陳列館建坪三千九百七十九坪に達し出品物を十七區百四種に分ち從來九州に開きたる共進會中最も規模の大なるものなり又た名古屋市に於ける共進會は本州中奥羽以北を除きたる三府二十八縣の聯合共進會にして敷地十万坪陳列館建坪一萬千七百四十二坪外に館外陳列場二千七百七十九坪に上り出品物を十一部九十一類に分ち出品點數二十万點を算し其の規模の宏大なる四十年大博覽會の壘を摩せんとし名は共進會なるも實に堂々たる博覽會なり此の如く日本に於て同時に二大共進會の開設せらるゝは韓國百般の情況を紹介する上に於て實に逸すべからざる好機なるを以て農商工部は左記の出品を爲し且つ出品すべき統計表を骨子とて韓國要覽と題すべき小冊子を編纂し約一萬部を重なる觀覽人に配布せんとするの計畫を定め目下編纂中なり

右出品の場所は福岡參考館内七十二坪名古屋は本館内三十坪を得兩者とも出品豫想外に多く韓國の爲に十分の陳列場所を割く能ざりしは共進會當局者及吾が農商工部の最も遺憾とせる所なり然れども農商工部は其の狹小なる場所を利用し出來得る丈け韓國の實況を紹介するに努め居れるを以て愈々出品の上は日韓兩國の關係は著大なる好影響を齎すべきは何人も信じて疑はざるべし今其出品の大略を概示せんに福岡共進會に對しては北韓圖門江より浦汐に到り南は山に熊本佐賀長崎各縣の西北岸を包含し實物二十万の一則ち南北二十尺東西十二尺の大にして其内容は山川の地勢理事廳觀察府の區域海陸交通の狀況重なる都邑重要產物の分布日本人居留地日本人經營の學校農園漁村を表示せる●模型一個●統計及圖表七十五枚●諸規則を網羅せる圖書五十部●寫眞三十七●韓國人形四●貨幣五●農產物器四百六点●水產物二十一点●鑛物八点●工藝品二百三十九点●日本輸入品四十六點●外國輸入品三十三點●雜品六十七點●生牛二頭を出品し此生牛に對しては特に農商工部より韓國興業會社に運賃其他用諸費を補助する筈なり又名古屋に對しては同一の●模型●及其他統計圖表三十八枚●圖書五十部●寫眞二十一枚●人形二個●貨幣十五種●農產物百三十八點●水產物十一點●鑛物八點●工藝品六十三點●日本輸入品三十六●外國輸入品三十三●雜品三十八點を出陳する豫定にて其計畫を進めつゝあり云々

兇漢最終の公判

十二日午前九時半開廷、食後一時間の休憩を除き午後三時迄辯護士兩名の辯論あり之れに引續き安應七の一時間に渉る最後の申立ありて午後四時三十分審理終了閉廷、十四日午前十時判決言渡の筈(電報參照)傍聽席の模樣はダグラス、安秉贊の傍聽又例の如し、辯護人辯論の趣旨は本件には韓國刑法を適用すべきものなれども同刑法には本件の如き海外に於ける犯罪を罰するの條項なきを以て被告は何れも之れを罰すべきものにあらず假りに日本刑法を以て處罰すべきものとするも被告は伊藤公の政策を誤解したるのみならず伊藤公は檢察官論告の如き極刑を希望せざることは薨去後の今日と雖も明かに之れを推察し得べきが故に安應七に對しては短刑三年に酌量輕減を爲し禹連俊に對しては之れに準ずべき輕き刑に處す可く曹道先、柳江露は固より情を知らざるを以て無罪の言渡を望むと云ふにあり安應七申立の趣旨は自分は檢察官及び辯護士所論の如く伊藤公の政策を誤解したるものにあらず**伊藤公は日韓兩國の上下を欺き無道の政策**を行ふものなれば自分は一個人の資格にあらず**義軍の參謀中將**として今回の擧に出でたるものなり而して自分は其の**義戰の捕虜**となりたるものなれば普通刑事の被告人として取扱はる可きものにあらずと云ふにあり

曾禰統監の意見

曾禰統監は韓國に於ける地方行政上に一大改善を加ふるの必要を認め案を具して内閣に上申したれど閣議の結果之を採用せざることに決したるを以て先づ本年に於ては何等の改革を爲さず總て從前の通り据え置くことに爲りたり

李完用氏の退院

遭難後大韓醫院に於て治療五十餘日に及びたる總理大臣李完用氏は菊池博士の苦心劍に依りて萬死に一生を得て昨十四日午後一時退院せり而して氏の退院出迎の爲め趙承寧府總管、趙農相、李允用外十數名は同醫院に赴き其全快を祝し警護の爲め特に增發せる憲兵六名警官十餘名に護衛せられ通路も亦嚴重に之を警戒されつゝ無事自邸に入れり

韓鐵問題の通過

兩鐵道期成會東上委員曾我、大村兩氏より左の電報當地商業會議所に到達す

兩線共衆議院に於て可決せり(十三日午後八時四分東京發)

又東上中なる朝鮮日日新聞主幹今井忠雄氏より左の電報あり

昨夜の議會に於て韓國鐵道經費本年度豫算と共に原案通り可決す表面は十一年計畫なるも五年にて完成の筈

土地調査の着手

多年の宿題たりし土地調査事業は計畫全く成り愈々來月より着手することに決定し其官制は不日發表さるべし

納稅反對の裏面

(今村警視見聞談)

過日暴動の有りたる順川及び楊市龍岩浦地方の狀況視察として出張中なりし内部警務局の今村警視は十三日歸任したるが其見聞談に曰く由來順川は李朝の改權分配に預からず隨て政府の施設に關しては何事も反抗を爲すの風あり現に八年前に於ては郷長の家屋を燒き又三十年前に於て郡衙を燒打したる例ありて常に李朝を怨むこと甚しき上に近來酒、草及家屋稅等の新稅實施せられたる上に又々市場稅の附加ありし折柄耶蘇敎徒及排日派の煽動に依り反抗すれば或は課稅を免るべしとの空頼もありて斯る暴擧を企圖したるものなり而して楊市は昔し小作米取立の場合に於て某の小作主を毆打したるなどのことあり該地方の人氣は一般に宜ろしからざる中なるが一部の農民中には歡んで納稅する者もなきにあらず要するに西韓一圓の狀況は驟雨來つて天霽るゝと同一にて今尙雨降らざるの地は陰雨濛々として何時强盜の雨を見るやも圖られざるの風あり而して順川に於て逮捕したるものは日本人を殺害したるもの同幇助者及附和雷同者を加せ七八十名楊市に於て十二名(内普城中學生徒三名を含む)なるが憲兵、警察は目下全力を擧げ晝夜兼行にて之れが大々的檢擧に努め居れりと

●暴徒と失職勞働者 近來一般の不景氣に伴ひ地方に於ける韓人の失職者益增加し而して是等失職者は其生活上の困難よりして勢ひ犯罪其他不正の所業を敢てするもの少からず現に今尙各地を徘徊する暴徒中是等失職韓人の生活困難の爲め餘儀なく之に投ずるに至りたるもの頗る多きものゝ如し故に失職韓人に對し相當の職業を與ふることは寔に刻下の急務なるも現時各地方に於て起工中の土木其他の工事に關し往々支那苦力を使役して韓人勞働者を顧みざるものあるを以て其筋に於ては韓人勞働者に示諭し努めて勞役に從事せしめ一面起業者土木受負人等に對し可成韓人勞働者を使役すべきことを勸誘しつゝあるが其結果韓人失職者にして多少其數を減ずるに至れり殊に昨秋全羅道暴徒大討伐開始の結果逮捕又は自首せし暴徒中所轄檢事に於て微罪處分に付したる者に對し生業を與へ勞働の風習に就かしむるの目的を以て全羅南道に道路改修工事を起しこれに使用するも其効果頗る良好なるものありと云ふ

●龍山經濟協會總會 一昨十三日午後九時より龍山經濟協會に於ては總會を元山小學校分敎場内に開きたるが會する者三十六名直ちに規則を諮議し次いで役員選擧を行ひ會長に松原榮氏、副會長に野中推弘氏、會計役に阪敬明氏を評議員は會長の指名にて十六名を撰定し其の他二三の會員より協會今後の活動等に關する質問ありて散會したるは十一時なりしと

●韓銀貨幣發行週報 (自二月六日至二月十二日)

銀行券總發行平均高	一三、四四五、七八八
内 正貨準備發行高	四、八三二、二一四
保證準備發行高	八、六一三、五一四
銀行券市場平均手許有高	五五七、〇六六
銀行券平均流通高	一二、八八八、七二一
硬貨發行額(二月十二日現在)	五、八二二、一二〇
内 金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同拾圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	九五四、六五〇
同貳拾錢	一、四四一、五一〇
同拾錢	九四〇、八四〇
白銅貨五錢	六九二、六〇〇
靑銅貨壹錢	二六二、〇四〇
同五厘	八〇、四六〇

●紀念日と在鄉軍人 來る三月十日は陸軍紀念日に相當するを以て軍司令部にては盛典を擧行する筈にて目下委員は夫れ〱準備中なるが今回は京龍の在鄉軍人をも參列なさしむる方針にて將校及び相等官には案内狀を發するも下士以下は自由入場を許可するが故に此際在鄉軍人は憲兵隊に屆け置く方便利なるべしと云ふ

●櫻井丸の應急修理 仁川稅關所屬巡船櫻井丸が群山沖に於て舵機を損傷せし爲め運航の自由を缺ぎたる由は既報の如くなるが群山支署より救助船現場に急航し假修繕を施したる上仁川に廻航せらるべしと云ふ

●三極栽植地の選定 三極栽植地選定及び農事視察を兼ね農商工部宮本技師は濟州島、務安、羅州光州、南平地方に去る十日より二十二日間の豫定を以て出張せられたり

●第二分校設定建議 山口中島會川秋吉石井の各議員より四十三年度に於て現第二小學校分校を適當の地に設立すべく建議案を提出せり

●農商工部の招宴 農商工部は一昨十三日午後五時より日韓新聞記者四十餘名を花月樓に請じ盛大なる宴を張れり主人側よりは趙農相木内次官局長各課長外勅奏任官四十餘名出席し幹旋の勞を執り開宴に先ち桃中軒星右衞門の義士銘々傳中山科に於ける大石妻子離別の講談ありて滿場の賓客を醉泣せしめ夫より開宴木内次官の挨拶菊地商工局長の福岡、名古屋兩共進會に對する出品計畫に就き詳細なる說明あり次ぎに趙農相亦一場の演說を爲し之に對し戸叶大韓日報社長同業者一同を代表して謝辭を述べ終るや主人側一同は大擧して賓席へ襲ひ來り交互相亂れて款待の禮を盡くせり主人側諸氏は何れも吾々同業と日々親接する間柄なれば和氣靄々たるを得近來の快宴なりき

●日本大學校友會 去る十二日午後六時より巴城館に於て日本大學校友會を開催せしに松井警務局長、三宅、淺見島村の各判事其他會するもの二十餘名各席定るや木尾幹事は幹事を代表して開會の辭を述べ續て岩本幹事の本會に關する會務の報告あり岩田、野坂、坂井氏を幹事に推撰し和氣靄々の裡に歡を盡し午後十一時頃散會したりと

●幼稚園入園適齡 仁川民團立幼稚園にては從來四歲以上の幼兒を收容し居りしが本年度より規則に基き滿三歲以上の者は入園するを得べしと云ふ

●高女敎諭の新任 仁川民團立高等女學校敎諭として女子高等師範學校出身の安部サダ子此程着任したりと云ふ

駐劄軍の疑獄乎

駐劄軍司令部に在勤せる某中尉が其上官の某大尉に啣む處ありし大尉の秘事を抒き一篇の密告書を草し之を陸軍大臣に提出せしが其密告の内容は今茲に報道するの自由を有せざるも軍國の機密に屬し頗る重大事件たるを以て陸軍省にては大に驚き同司令部に嚴重なる探査を命じ來り同部は之が爲めに目下非常の混雜を極め居れりとの說あり而して某中尉の密告にして若し事實なりとせば不日一大疑獄醸出せん許られずと幹部は之が採消しに苦心中なりといふ(電通)

●鶴岡氏の出發期 前農商工部書記官鶴岡永太郎氏は愈々今十五日午前九時南大門發の列車にて東上する筈なるが歐行出發期は來る四月一日横濱發の地洋丸に搭乘し彼の朝日新聞主催世界一週會員と同行する豫定なりと云へり

●鐵道基點運動員 三南鐵道分岐點運動員丸山虎之助、西頭謙吉兩氏十三日入京十四日石塚長官其他を訪問せり

●小川課長渡日期 福岡、名古屋兩共進會事務に關し渡日の筈なる小川商工課長は多分來る廿日前後なるべしと

●庵原課長の消息 出張中の庵原漁政課長は昨十四日群山を出發仁川を經て來る十六日歸館の由通知ありたりと

●山本桃州氏東上 大阪朝日新聞特派員山本桃州氏は政況視察の爲約二週間の豫定にて來る十七八日頃東上の筈

●能勢理事官退京 入京中なりし大邱理事官能勢辰五郎氏は十三日歸任す

●今村警視の歸任 順川方面の暴動地巡視中なりし同警視は十三日歸任す

兩鐵山の過去將來

韓國の鐵鑛は幾何の量を有するやに就き之れを其の筋の當局者に糺したる處日本が使用する丈は當分大丈夫なりと云へり此の當分なる意味は無窮の性質を有する日本國家の立場より見て云ひたることなれば其の量の如何に豐富なるやはいふ迄もなかるべく從來日本の製鐵所が使用したる鐵鑛は屢次述べたる如く主に淸國大冶の產なりしが近時韓國產を使用することゝなり昨年迄韓國政府が經營したる載寧及殷栗の鐵山を直接日本政府が韓國の鑛業法に準びて經營することゝなりたるに就き今其の二鑛區に對し過去の事業と將來の經營方針を聞くに殷栗載寧(黃海道)兩鐵山は元宮内府所屬の鑛山にして宮内府は其の採掘を個人に許可し或は直營名義の下に採掘したることありしか何れも其の事業を開發するに至らず明治四十年八月鑛業法を改正すると同時に宮内府所屬を離れて政府の所管に移り政府は採堀運搬を個人に受負はしめ其の鑛石は日本八幡製鐵所に供給することゝし兩鑛山現存の設備は受負人に貸付し今後の增設修繕等は受負人の負擔たらしめ製鐵所に賣渡したる鑛石價格中より殷栗產は一噸に付金一圓六十五錢、載寧產は一噸に付同一圓を政府に取得し殘餘は受負人に交付することゝして四十一年より事業に着手せしめ鎭南浦に鑛務局出張所を置き採堀及輸送を監督せり而して四十一年度製鐵所に供給鑛石數量は殷栗一万七千屯載寧三萬三千噸の豫定にして其實數は殷栗一萬七千八百九十三噸八三〇、載寧三萬四千六百七十一噸五八三、計五萬二千五百六十五噸四一三、賣渡價格殷栗十二萬千九百十三圓九十一錢(平均噸六圓八十錢一厘)載寧二十二万七千百八十二圓八錢(平均噸六圓五十五錢二厘)計三十四萬九千九十五圓九十九錢にして政府は該官營に要したる支出額を差引總歲入二萬六千四百六十四圓七十五錢五厘を收めたり次で四十二年度に於て製鐵所に供給數量を六萬噸とし買上標準價額六圓五十錢を六圓に低減し政府の取得額を變更し殷栗產一噸一圓十錢載寧產を一噸八十錢とし殷栗は二萬三千六噸載寧は四萬五百七十八噸計六万三千五百七十八噸を輸送し賣渡價格殷栗十四萬千五百三十一圓六錢(平均六圓十三錢强)載寧二十四万三千三百二十三圓十五錢(平均五圓九十八錢强)計三十八萬四千八百五十四圓十九錢にして政府は總歲入三萬四百餘圓を收むる見込なり以上の如く官營開始以來二年に渉り事業上何等の支障を生ぜず豫定の功果を收めたるも近來事業の進步に伴ひ漸次深く地底に掘進するの必要を生じ將來之を有利に經營せむとするには更に採鑛に勉むると共に一層規模を擴張するの必要なるに際し偶日本農商務省よりの交渉により同鑛山を製鐵所に於て經營することゝなし四十二年限りを以て農商工部直營を離るに至れり

朝鮮飴屋の巣窟

▲大阪鹽草町の一奇觀
▲三十八名の韓人飴賣

山縣元帥以下五名の大官を暗殺する目的にて曩に李總理を傷けたる李在明一味の刺客數名日本に入込みたりとの噂傳はりて其筋にても夫々警戒中の次第は既報の如くなるが大阪府警察部にても市內に在住する朝鮮飴屋の中に渠等刺客と氣脈を通じ居る者ありとの風說に鑑みて專ら其行動を監視しつゝあり最も風來韓人の多くは衣食に窮する時は忽ち自國の名產たる飴屋に化けて急場を凌ぐが常にて中には隨分危險なる人物もあるより其筋にても這般の風說に關せず渠等の擧動に注目し居る由なるが目下同市內に居住して飴賣を渡世とする者合計三十八名あり巢窟は難波鹽草町の裏屋にして一部は隣接地なる蘆原町に跨り總て四ヶ所に分宿し一戸を構へ居るもあれど又日本人の二階を借りて同居せるもあり服裝は韓裝と洋裝の合の子若くは韓衣と和服とを混用せるあり試みに一步室內に入れば不潔と云ふことを知らぬ渠等の事とて入口の土間を沓脫なり製造場なりに充て一隅へ竈を築きて垢染みたる釜を掛け例の脂の詰りたる長煙管を咬へながらグツ/＼飴を焚き其邊には履物やら雜巾やらバケツやら雜然として足も踏めぬ塵芥の中にて此焚きたる飴を引延し傍への氣味惡き柱に掛けては手唾交りに晒しつゝある處嘔吐を催さんばかりにて此光景を一目見たる上は迚も口にすることは出來ぬなり此中の李春伯及李宅根と云へる二韓人こそは即ち大阪に於ける飴屋の元祖にして春伯が妻張乙の如きはもう二十年も日本に在る由にて巧みに日本語を操り其他も大抵一通りの日本語には通じ居れり斯して其日/＼の賣揚高は最初は一箱一圓三十錢位ゐの賣れなれど追々賣行の減じたると同業者の殖ゑたる爲め今は九十錢位ゐに下落し是れ一方にては生活に覺束なきに至れりとの事なりされば飽くまでも暢氣なるは渠等ゆゑ唯其日さへ辛うじて過せば明日は又明日の風が吹くだらう主義にて暇さへあれば仲間を集めて朝鮮將棋に耽りつゝあり唯朴乘殊、梁君洪、金明河など云ふ連中孰れも一癖ありげなるより警察部の刑事は特に此三人の出入に尾行し平生に李宅根の宅に出張なして監視し居れりと云ふ

横綱若島の再勤

▲大阪角界の新現象

關西の相撲界[illegible]大關まで取り上げたる若島權四郞は相撲界と離れて茲に四箇年間表面丈けは興行物の仕打として各地を巡業したりしが贔負先の忠告もあり尙當年三十四歲の男盛り一番元に返りて四年前の舊若島とならんと決心し此際一箇月許りも稽古を勵み今一度土俵に花を咲かせて見んと頭取取締中村松五郞にも相談せし中村も若島の再勤を喜び快よく之を承諾せしにより若島は來月初旬より稽古場に出でゝ腕を磨き五月場所より元の横綱大關にて再勤することに極めたる由大阪協會へは未だ表面の通知を爲さゞるも相撲界の上より見て非常に歡迎の意を表し居れるが番附面の据ゑ方に就ては喧しきことなるべし

清正の子孫發見

▲蔚山附近の一部落

此程慶北蔚山付近に於て邦人を祖先とすと稱する一部落を發見したるが諸種の材料に依り調查したる所に依れば鬼上官加藤清正の落胤[illegible]りたるものゝ如く其子孫繁殖して遂に一部落を爲すに至り其筋にては尙ほ的確なる歷史材料を得んと調查中の由なるが三百餘年の昔鬼と呼ばれ啼兒の泣を止めしと唄はるゝ清正が韓婦人を愛して此趣味ある歷史を殘せしを追想すれば興味の津々たるものあり尙ほ調查の結果は面白き史料を發見するに至るやも知れずといふ

仁川大火の餘聞

▲悲慘極まる關係

▲火災後の慘狀　燒跡の漠々として一面焦土と化せる光景は凄慘の感を惹起せしめつゝあるが遠く京城其他より續々之の燒跡を視に來る者あり亦一方羅災者は板塀の圍を爲さんと準備中なり

▲當局の善後策　仁川署及び民役所に於ては羅災者中の貧窮者を調查中なるが日本人は夫々親族知己其他に避難し亦は移轉して何等生活上の困難を感せざるが如きも韓人中には其日/＼の煙すら揚げ兼ぬるの窮困者あれば目下取調中なりと尙は仁川民長岩崎氏及び宮館署長は火災狀況視察の爲め下仁せし小熊警視廳消防課長と一昨夜罹災後の善後策並びに今後に於ける消防機關の完全に關し打合せを爲したりと

▲消防隊に感謝　仁川本町三丁目一廓は發火の場所に近接し居る丈け極めて危險に瀕し到底類燒の災を免れざるべきを豫想せしめしが幸に韓人消防組及び宅合名會社消防夫の盡力にて事なきを得たれば同町人士は右消防組に對し感謝の意を表し居れり

▲薪炭商の決議　韓人薪炭商組合に於ては還回の火災に鑑み今後薪炭の置場には煉瓦を周らする事に決議せりと聞けり

青坡の石合戰

▲未遂の內に散解せしむ

一昨十三日は舊曆三日に相當し當地方の舊慣として年來**石合戰の蠻風**行はれ現に昨年に於ける麻浦の石戰の如き重輕傷者數名を出したる例さへあれば本年も右の如き間違ひを出來せしめてはと豫め龍山警察署にては西部よりの應援を合せて署員二十八名取締の爲め麻浦孔德里に出張なし居たりしに午後五時頃に至るも何等別條もなきより一足先きに西部署員を引揚げしめ龍山署員も總て桃山遊廓裏手迄引揚げ來りし處へ龍山靑坡附近に石戰ありとの情報に接せしかば一同は驚きながら驅け足にて山越ねをなし一散に現場へ驅け附し處殆んど**千五百人餘**の韓人が今しも石戰を開始せんとする**刹那**にぞありしかば物をも云はず署員一同ドット許り其の群中に突破なせしに約**三千許**りの見物が先づ狼狽して波立ちければ當人共も是れに卷き込まれて退散なし漸やく**無事**に濟たりとは危險千万の事共なり

●咸興の人斬沙汰

▲原因は痴情の果て

一昨夜十時咸興に於て時ならぬ血の雨を降らせし珍事あり緣の起りは例の情事が基因らしく同地在住丸藤次郎(二九)は離緣問題に關し同地酒造業金山福太郎、福江宇太郎に對し深き遺憾を含みしが一昨夜に到り遂に暴裂し丸藤は短刀を振ふて右兩人に數個所の重輕傷を負はせ尙は福太郎の妻を同刀の下に斬殺したりしが犯人は現場に於て直に其筋の手に逮捕されたりとの事なるが其內容に就ては頗る込入りたる事情の伏在せるが如く一片の電文其詳細を悉し難きも何れ後報を待つて詳報する處あるべし

●退韓者の逆戻り

當地南大門外中の新地河口五郎方住居の請負業山口縣平民河口五吉(三三)と云ふは去る四十一年七月九日當理事廳理事官より地方の安寧を妨害するものと認められ二ヶ年間在韓を禁止せられたるにも拘らず本年一月二十八日肩書の處へ來り潛伏中去る八日發見せられ取調の上九日京城區裁判所檢事局送り

●集金を蕩盡す

一昨日仁川署刑事の手にて一名の浮浪男を取押へ本署に引致の上取調べたるに此男は原籍大分縣南海部郡佐伯町首藤廣祐(三三)と云ひ大阪東區北久寶寺町の銃商野口芳松方に奉公中本年一月廿日中國及四國筋に於ける得意先に集金の爲め出張を命せられしを仕合せとし至る處にて集金しては遊廓に蕩盡し同月下旬仁川に逃走し來り市中を彷徨中右刑事の手に押へられたる次第判明せしかば引續き取調べを爲すと共に大阪に照會中なりと云ふ

●韓人の石炭泥棒

仁川花房町二丁目三宅回遭店雇人橋本常三郎及び同和田喜久次と云ふは一昨日午前九時三十分頃仁川驛構內に於て托送の石炭を平洞居住韓人孔玉仁外一名の者が支那人に賣却する意志にて窃取逃走せんとせるを取押へ仁川署に突出したり

●土日兩曜の新町

新町遊廓土曜日曜兩日の登樓客は二百十名にして其の消費金高は千百六十九圓二十二錢なり

●一昨夜の敷島

遊廓標客數は五十三人にして揚り高は百六十圓八十錢

●式部女郞の廢業

新町遊廓第一樓本店抱ゑ藝妓式部事神奈川縣生れ本性原田サキ(二六)は一昨日廢業す

●歌舞伎座

本十五日の同座替り狂言は大每の懸賞物「嫁ヶ淵」を大車輪にて演ずる由

壽座の桃中軒

連夜大喝采を以て迎ねられつゝある壽座桃中軒星右衞門の今晩の語り物は一大石內藏助山科浪宅(妻子別れ)二横川勘平德れ馳せ一番鎗にして尙本晚向笠霞州の筑前琵琶としては新作哈爾賓の一曲之は是れ當代の偉傑藤公が一世を歌ふたる者其の結末を哈爾賓原頭の壯烈悲痛なる最後に結びたる曲譜にして作者は下村無諞氏言々句々これ金玉の行文は唯一讀するのみにて藤公の面影躍然として眼前に彷彿する者あり而も是を歌ふに霞州の美音を以てす兎に角本晚の聞きものならんか

▲平民文庫▼

▲陸軍中將閣下宇佐川一正が東上するので一昨朝の南大門通は一ト切り大混雜を來した▲南大門より內は往來も廣いから左程でもないが南大門外のアノ狹い所なぞでは拙者の如き平民は轢殺されは爲ないかと鞠躬如……ちやない戰々恂々ビク/＼如として[illegible]電言柱と平行して行くのが常だ▲昨朝も南大門驛に見送る人があつたのでビクビクなることは例の如くテク/＼たるてこも又例の如く例の方を行く▲スルト馬蹄の響き戞々として突然拙者の脊後に轟るを覺れた▲素破こそと思ふ間もなくとシリと鞭は寒風を斬つて拙者の頭上に鳴つた▲ビクリと首を縮める間もなく、ーイへイと馭者の雷の如な聲が響き渡る▲避けだいのは山々だが是れから先き避けたら其所の家の壁を拔かねば駄目である▲併し是れは一寸やソツとの間には合はぬ三十六歲を一期として屍を南大門外塵深き所に曝すのかと棄てばちの膽を据ゑて目を閉つて居ると頰をスレ/＼と驅け拔けた樣である▲ヤレ/＼と目を開けた時には馬車は既に七八間の前に塵を蹴立てゝ恰も長風の荒原を吹く樣傍若無人に疾驅して居る馬丁とも馭者にも乘せて▲さるにても此の馬車の主は如何なる高貴の方であらうかと聞いて見たれば驚くなかれ此れてろは總務長官事務取扱閣下石塚英藏とある▲厩は立つても是れでは平民の拙者共には齒も立たない(風聞子)▲昨朝本町通りを小砂利を積んだ馬車が二十何臺と云ふもの布を引いた樣に絡繹として行つた相當の間隔を置いて行く樣にして貰ひたい(通行人)▲往復切符に急ぎ立てられ昨日歸つて來ました不相變御愛顧の程宜しくお願ひ申上ます(はの字)▲御機嫌よろしう所で御病人は如何で御座いました(小僧)▲統監の文官普通試驗は何日頃ですか官報はなし聞く人はなし願くは貴紙平民文庫でれ知らせて下さい(貧苦生)▲承知しました決定次第本紙に登載されます(係)

吉凶鏡　本町五丁目 三一館判斷

二月十五日舊正月五日九紫大安辛亥納 三りんぼう△一白● 錯誤生じ易し旅行相談凶色情痴情の破れあり△二黑● 一生面を拓く日なり仕官就職依頼相談効を擧ぐ療養及晉借上には注意すべし△三碧● 放心より詐術に陷り易し其他靖事の日なり大抵吉△四綠● 概して快欣の日なり大概吉家庭內の煩累及色情の破れを愼しむべし△五黃● 大抵吉誘惑を防ぐ虛飾潤張を戒しむ△六白● 新事見合の事但し改築土木鍊金冶金鍛金の事は吉△七赤● 轉倒顚踣の日なり愼しむべし改革變更の事良好△八白● 隆森の日なり依頼相談効あり勸誘の事より損失配慮を醸す勿れ△九紫● 中絕離間を避くべし火の元の用意すべし旅行出帆凶

●天氣豫報(自十四日午後六時至十五日午後六時)

西の風晴

十三日(華氏) 最高溫度 三三、六 最低溫度 二〇、八

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町 電話一千四百〇九
ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齡十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店
●自宅寫字に應す 御報次第參堂（電話一一六八）
●高等官舍上女中、十五六歳の女子高等官舍上女中見習したし俸給望まず 氏名在社（八

物件部

●店員雇入 十四五歳の若者希望者來談あれ日の出町下山商行（電一〇〇七）
●貸家 西大門内韓國國學館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所淸水方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舖讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり滊車電車に近く出入便利希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温実ならは最佳 氏名在社

廣告

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
自午前九時至正午
但他は從前の通り
龍山榮町（電話六〇三番）
龍山醫院

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

開店廣告
料理 洋食 すき燒 辨當
金十五錢均一 出前も致升
食て後ち御評判を乞ふ
鐘路裁判所向裏
鐘路軒

宮内府御用
博物館御用
古今美術書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張
壽町二丁目
表具 松月堂 電話千〇〇三番
堅實を旨とし大勉强仕候也

本所製造の卵形煉炭は全く實用美術兼備の理想的燃料にして輓近漸く證明せられたる世界優良の平壤無煙炭と日本第一の稱ある三池粉炭とを原料とし其の製造機械は平壤鑛業所の御保管に係りし精鋭新式のものを應用し又其の煉炭式は專ら薪炭の驅逐及び輸入石炭の防止と室内爽快の爲め煙臭除去の目的を完ふすべき則ち獨特の工夫に出たる天下無比の製炭なり希くは江湖各位一たび御試用ありて其の廣言の虚妄ならざる事を御曉得あらんことを望む 敬白

此の卵形煉炭の出現は京城各戸に於ける溫突竈口の改良を促すと同時に全市の消費する年額二百萬圓の薪炭を驅逐して以て側面より韓國殖林の奏功に資せんとするものに有之候
論より證據一度此の卵炭を「ストーブ」に御使用の上は其の溫熱身體に適切し室内常に淸潔を保ち年中煙突の掃除を要せず而も費額は少量にして經濟節減の妙用到底此の右に出づべき燃料なき御承認可被相成候

賣物

蒸氣機械製造 卵形煉炭

大サ

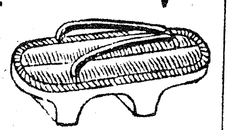
第一號
原料は純炭無煙炭のみを以て製造したるもの
用 有之候ストーブ、炊事七リン
火力穩强にして耐久春暖の溫位を保つ坐敷用ストーブに最妙

第二號
原料は無煙炭八割三池炭二割を混和し製造したるものに有之候
ストーブ、フロ釜、滊鑵用
火力猛烈火付き急速盛夏の熱度を放つ大廣間出入頻繁室のストーブに最妙

韓國平壤停車場内（電話二二九番）
製造元 私立平壤無煙煉炭所
韓國平壤壽町（長電一三九番）
販賣元 松井商店
韓國京城古市町（電九四一番）
大販賣 苫米地商店

値段 御用命數量の多少と配達遠近により精々勉强の上御相談可仕候間御問合次第急速御返事可致候

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店 電話八百三十五番

東京 足袋

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

外科 内科
黴毒痳病專門
◉京城御成町南大門外一丁南
戸田病院
◉入院隨意
◉電話番號九三八番

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保
日歩に
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速御出可申候

質金業
京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門通魚市場東裏） 樋下田支店（電話一四三九番）
龍山清水町六十三番戸 樋下田支店（電話四〇四番）

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮（電話三九八番）

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋 唐川商店
電話二六一番

京城明治町二丁目（佛國教會前）
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
電話三五四番

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集豐富 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢
右豫約募集以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し候就ては猶一層努力致し大目を協約、官制、官規、官等、等級、俸給、其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として此の微なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か卑願に酬ゆるの微志に有之候就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付けられ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話一一一五番）

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候
電話一三八二番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋旅館横へ入る）
待合 醉月
電話二二六五番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、國粹酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、豐岐
韓國日本其他韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社 百三十銀行 韓國支店
京城本町二丁目十五番 電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、新市、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、舟木
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、申本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、吉野川、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告 仁川 第十二番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月 日後三時出
●大連行 柏梭丸 二月十五日正午時出
●大連、太沽行 山東丸 三月二日午前六時出
●大連太沽行 酒田丸 三月 五日正午時出
●釜山出帆 元山、浦津、浦鹽行 立神丸 二月十六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄艀迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事